

■平成 17 年度 催物案内

帰ってきた私たちの名品展 岐阜県美術館で会える巨匠たちからルドン、ルノワール、玉堂から現代まで 150 選～

4 月 1 日(金曜)から 5 月 8 日(日曜)

空調工事が終了し、3000 点にのぼる所蔵品が 5 ヶ月ぶりに帰ってきました。それを記念して、当館所蔵の洋画・日本画・彫刻・工芸の各分野から選びぬいた巨匠たちの名品 150 点を一同に展示します。

第 59 回 岐阜県美術展

一般の部：5 月 28 日(土曜)から 6 月 5 日(日曜)

青年部：6 月 9 日(木曜)から 6 月 12 日(日曜)

少年部：6 月 16 日(木曜)から 6 月 29 日(日曜)

一般部は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの 7 部門からなる公募展

青年部は、絵画、デザイン、彫刻、書道、写真の 5 部門からなる公募展

少年部は、絵画・デザイン、書写の 2 部門からなる公募展

日本の美 三千年の輝き ニューヨーク・パーク・コレクション展 一縄文から琳派、若冲、広重まで

—

7 月 5 日(火曜)から 8 月 19 日(金曜)

縄文、弥生土器から奈良、平安、鎌倉の仏教美術、絵巻、墨蹟。室町、桃山、江戸の絵画、彫刻、工芸。3000 年にわたる日本美術の名品を網羅した一大コレクションが、日本に里帰りします。

川が育んだ日本の伝統文化展—帰国展—

8 月 27 日(土曜)から 10 月 23 日(日曜)

ドイツのミュンヘン民族学博物館が所蔵するシーボルト・コレクションと、岐阜県の風土が生んだ美術品や伝統工芸品をあわせてご紹介します。絵画、陶磁器、染織、刀剣、絹、和紙、畳など幅広いジャンルの中から、歴史的にも貴重な名品と資料 150 余点を一堂に展示します。

第 3 回 円空大賞展

8 月 27 日(土曜)から 10 月 23 日(日曜)

岐阜県ゆかりの江戸時代の修行僧「円空」。その精神を彷彿とさせる芸術家たちを顕彰することにより、岐阜の文化を振興し広く発信してゆこうと、岐阜県では「円空大賞」が制定されました。この展覧会では、その第 3 回受賞者 7 名の優れた成果を一堂に展示します。

プラート美術の至宝展-フィレンツェに挑戦した都市の物語-

1月13日(金曜)から3月12日(日曜)

イタリアの地方都市には長い歴史と伝統に培われた個性があります。聖母マリアの聖帯伝説で知られる、フィレンツェ近郊のプラート市もこうした町のひとつです。この展覧会では、プラート市が所有するルネサンスからバロックまでのイタリア美術の名品の数々を鑑賞し、あわせて都市盛衰の物語をひもときます。

日本近代洋画への道(仮称)-山岡コレクションを中心として-

1月13日(金曜)から3月12日(日曜)

日本の近代洋画史をたどる上で、永く幻とされてきた山岡コレクションを中心に、洋画誕生の歴史を振り返ります。この展覧会では、岐阜県美術館が所蔵する明治・大正期の作品の中から、山本芳翠の「裸婦」をはじめとする選りすぐりの作品を、あわせてご覧いただけます。